

建学の精神 社会貢献する『人間をつくる』

1 学校教育目標

- (1) 建学の精神に則り、教師の愛と指導力と感性で心をつくる教育を展開し、社会に貢献する人材を育成する学校を目指す。
- (2) 城北魂スピリッツ「自分のことより先ず人のことを思え」の教育理念のもと、全ての差別をゆるさない、一人ひとりを認め合い、高め合う教育を実践する学校を目指す。
- (3) 生徒へ希望を与え、生徒を伸ばし、生徒の可能性を引き出す学校として、生徒、保護者、中学校を満足させる教育を展開する学校を目指す。

2 本年度の教育重点目標

- (1) 生活指導を基盤に、真面目が当たり前の校風をつくり、強く、美しい心をつくる教育を実践する。(あいさつ指導、心の掃除指導、論語教育の徹底)
- (2) 「わかる授業」の追求と実践で、授業の質を向上させ、生徒が自主的、意欲的に取り組む「学ぶ習慣」の校風をつくる教育を実践する。(教材研究・授業の展開等の工夫と創造)
- (3) 各学年間においての体系的な進路指導で、生徒の希望や目標を具体化し、進路実現へと繋げる教育を実践する。(希望塾の充実強化、各種国家試験対策強化、公務員試験対策強化、書く習慣づくり、新聞読解力づくり)

3 自己評価総括表 評価基準(4:十分達成 3:おおむね達成 2:やや不十分 1:不十分)

評価項目		具体的目標(評価の観点)	具体的方策	評価	成果と課題
大項目	小項目				
学校経営	建学の精神に則った教育目標の実践	愛と指導力と感性で生徒の可能性を引き出し生徒・保護者・中学校・地域を満足させる教育を実践する	建学の精神に則り、学校教育を展開していく。目の前にいる生徒を満足させる教育活動を実践する。	2.8	生徒・保護者理解に努め、声かけ、対応ができた。満足はまださせていないため、もっと意識を上げ、実践を図る。個々のニーズに対応した教育の実践。
	特色ある学校(学科、コース)づくり	学校、学科、コースの特色、生徒一人ひとりの個性を生かした教育活動を展開する	学科・コースの特色の明確化を図る。個々の生徒の可能性を引き出し、学科・コースの実績を高める教育活動を実践していく	2.8	生徒の目標、科の課題を明確にし、改善できた。特別授業を実施してきたが、課題があった。実習の成果があった。定員確保出来ていない科の対策。
	開かれた学校づくり	ホームページや学校新聞、広報誌等で情報発信し、説明責任、学校理解を図る	ホームページや学校新聞の更なる充実を図るための工夫を行い、生徒の活動、頑張りを発信する	2.7	今一つ整理ができていない。作成中のページの早急な対応が必要。写真の更新をこまめに。学校新聞のできが良かった。学級通信の充実。
	地域からの信頼を得る学校づくり	地域及び保護者との連携、生徒・職員による地域貢献を図る	地域、PTA間の連携を図り、各種地域活動行事、学校行事、ボランティアへの生徒・職員・保護者の積極的参加と成功を図る	3.0	努力しているが、地域への展開が課題である。ボランティアの地域・PTAとの連携が今一つ。PTAと担任・学年職員の関係強化を図る。
	教育環境の整備	施設設備の充実及び、危険箇所等の早期発見、早期対応を図る	教室・体育館等の充実、耐震補強を進める。改善(老朽化設備の点検・修理等)を進める。	2.4	スクールバス、寮の整備が必要。改善できるところから計画的に早期対応の必要あり。特進棟の新築は良かった。地震、台風等の対応が良かった。
学力向上	わかる授業の実践	常に学習指導方法の工夫・改善を施し、授業力向上を図る	研修、公開授業等で教師間の指導力の向上を図り、振り返りシート等を使い自らの授業を常に研究、改善する	2.6	毎時プリントを作成し、わかる授業に徹した。生徒の実態に合わせて工夫した。公開授業を日頃から。振り返りシートをもっと活用すべき。教科会の充実。
	教育課程と時数の確保	各学科コースの特色を生かした教育課程と3年間を見据えた指導計画の達成	各学科コースの特色を生かしたシラバスの作成と、全ての生徒の学力向上を目指した授業を展開する	2.4	シラバス、カリキュラムの見直し、検討が必要。具体的指導計画の見直しと徹底した統一した指導を確立させる必要性がある。
	学習習慣と基礎学力の定着	学習習慣の確立へ向け、家庭学習の習慣化を図り、生徒の状況を把握し、適切な学習指導を実施する	生徒の課題学習状況の把握と、授業、課外、マナトレ、一步学習の取り組み強化と成果を図る	2.5	自学や補講の成果がまだ出ていない。宅習ノートの取組みができた。家庭学習の定着が課題。マナトレの見直しと効果的実践の検証が必要。
生徒指導	自律心と自尊感情の育成	自ら判断し行動する生徒を育成する	生徒が自ら考え行動を促す情操教育の実施と黙想、論語教育等による心の教育を図る	2.9	生徒の意識向上を図る具体的取組の検討。
	基本的な生活習慣の確立	挨拶・時間の厳守、服装指導等の徹底と生徒自らが取り組む心の掃除の徹底	登校指導、ホームルーム指導、職員間の指導の連携を図り、統一した指導で徹底を図る	3.0	心の掃除の徹底をもっと図るべき。全校登校指導への職員の意識向上が必要。
	明るく楽しい学校づくり	問題行動やいじめのない明るく楽しい学校を目指す	問題の早期発見と素早い対応を行い、特にいじめ問題についてはアンケート調査等により実態を早期に把握し対応する	2.9	生徒がSOS発信しやすい対応ができた。問題行動の未然指導の強化。早期対応の体制ができています。職員間の連携強化。
	交通指導の強化	交通マナーの向上と交通ルールの遵守を図り、交通事故、違反をなくす	交通安全教育を徹底する(交通講話、実技指導等)自転車、二輪車通学生生については特に安全教育を強化する	2.9	二輪車通学生生への指導の強化。櫛の義務化検討。
進路指導	進路目標設定、進路情報提供	進路に関する計画的な指導と支援、充実を図る	学年との連携強化を図り、生徒の意識を高め、学習意欲向上や計画的学習につなげ、進路に関する意識向上を図る	2.8	目標達成のために計画的に取り組みした。進路決定状況等の連絡報道の改善。生徒の意識向上を図る早期の取り組みを。計画的取組を強化。
	目標達成へ向け徹底した進学指導	目標達成へ向けての3年間と単年度の具体的計画の確立と実践、指導の強化	進路希望調査及び模擬試験の結果の早期分析による適切かつ計画的な指導をおこなう	2.5	特進以外の進学に対する指導強化が必要。もっと担任との連携が必要。分析した後のフィードバックの充実を。
	目標達成へ向け徹底した就職指導	目標達成へ向けての3年間と単年度の具体的計画の確立と実践、指導の強化	進路希望調査及び職業適性結果の早期分析による適切かつ計画的な指導をおこなう	2.7	具体的取組の成果を検証し改善していく必要あり。
人権教育の推進	職員の人権意識の高揚	職員研修の充実と各種研修会への参加	校内研修会の計画的な実施及び外部研修会等への積極的参加	2.9	多くの研修に参加できたが職員個人差がある。全職員が研修に参加する体制づくり。計画的に推進できた。職員がもっと研修すべき。
	生徒の人権意識の高揚	豊かな人権感覚を身につけた生徒の育成を図る	教育内容と指導の工夫・改善を検討し、学校全体、学年、クラスにおいて計画的に人権教育を実施する	2.8	振り返り学習が不足している。学校全体としての取り組みは充実していたが、各クラス学年の取組みの強化を図る必要あり。

評価項目		具体的目標(評価の観点)	具体的方策	評価	成果と課題
大項目	小項目				
特別活動	適切な学校行事の実施と充実	意欲的かつ自主的に学校行事に参加し、他と協力し合う協調性の育成を図る	計画的かつ効果的な学校行事運営・内容を検討、確立し、更に充実させる	3, 0	行事に対し、連携し参加し、充実していた。行事の計画性が全体的に遅かった。行事の精選が必要。
	生徒会活動と委員会活動の活性化	生徒自らが主体となり活動する生徒会、委員会活動の確立	生徒会・委員会の運営、役割を整理し、生徒自らが主体的かつ計画的に活動するよう組織を充実させる	2, 8	生徒の主体的取組、活動が素晴らしい。委員会によって活動の格差がそのまま指導の格差であった。
	部活動の活性化	スポーツ・文化部活動の更なる活性化と向上を図る、	全国レベルへ向けて、人間形成の基盤となりうる部活動へ向けて、更なる活性化を図る	3, 0	強化部以外の部活の活性化が課題。部活動間の指導の格差の検討。活躍が素晴らしい。
総務部	本校教育活動を中心に情報の発信を行い、生徒募集へと繋げる		オープンキャンパス・教育実践入試説明会・中学校訪問・各説明会を充実させる	3, 5	職員間で協力し合い取り組んでいる。
			学校案内、ポスター、募集要項、ホームページ等適切かつ効果的に発信する	3, 3	ホームページの活用がまだできていないので効果的活用を図っていく必要あり。
	適切な入学試験の実施		願書配布、入学試験、合格発表までの流れを的確に行う	3, 2	的確かつ分かりやすい願書や要項の作成とミスに十分注意する。
			入学試験全般における課題の改善を図る	3, 1	取り組みの遅れに注意。準備におけるよりよい体制の確立を。
	PTA活動の活性化		PTA活動の活性化のために具体的方策の検討と実践を行なう	2, 8	PTA役員の方々の協力ありがたい。
	同窓会活動の活性化		同窓会活動の活性化のために具体的方策の検討と実践を行なう	2, 3	職員の協力を合わせて取り組んでいく。昨年より活性化している。
	効果的な環境美化の実施		具体的な環境美化計画、心の掃除、大掃除を実施し、より効果的かつ情操教育へと繋げる	2, 9	心の掃除の徹底強化を。
	総務部活動全体について成果と課題				
各部及び専攻科	効果的な学校行事の実施と授業時数の確保を図る		学力保障のための授業時数の確保、自習時間の減少を図る	2, 8	授業時数の確保をもっと効果的に行う必要あり。自習ゼロの取組みを。チャイム厳守。
			目的を明確化し、より効果的かつ充実した学校行事の実施	2, 9	行事の精選が必要。内容が各部、学科任せで教務部として精査できていない。
			効果的かつ適切な時間割の実施	2, 8	特別時間割の工夫。
	わかる授業の実施、基礎学力定着への取組み強化		よりわかる授業実践のための教材研究と授業の工夫、生徒の学習意欲を喚起する授業の実施	2, 6	より授業研究の充実と教材研究の充実を図る。授業の質を高め合う取組みを計画する。
			研究授業等を実践し、指導方法の工夫改善を図る	2, 8	研究授業をもっと増やし、指導力向上へつなげる。
			教科担当者間における連携で授業の改善、評価の充実を図る教科会等の実施	2, 4	教科会の実施と充実を図る。(定例化)
			振り返りシートの効果的活用	2, 3	振り返りシートの活用を全体的にもっとすべきである。
	職員の指導力向上、意識の向上を図り、ベクトルを揃える職員研修の充実		校内外における効果的かつ計画的な職員研修会の実施	2, 5	目的、計画を明確にした研修の実施で、全職員の意識、指導力の向上を図る。研修を生かす取組み、活動の強化。
	多種多様化する奨学金制度への的確な対応と利用実施		生徒、保護者のニーズに合った的確な奨学金制度の案内、手続き、活用を行う	2, 8	職員がもっと勉強し、理解し、活用していく。担当者の負担が大きい。組織化すべき。
	教務部活動全体について成果と課題				

評価項目		具体的目標(評価の観点)	具体的方策	評価	成果と課題
大項目	小項目				
各部 及び 専攻科	生徒指導部	基本的生活習慣の確立	挨拶(立ち止まる、体を向けて、校門一礼等)、指導、服装指導の徹底	3, 2	全体的に挨拶がよく出来ている。全体指導(全校)とクラス・学年指導との連携強化。
			心の掃除の徹底	2, 8	自らが取り組む更なる心の掃除の徹底、指導が必要。徹底していく。
			欠席、遅刻、早退生徒への対応・指導	2, 9	生徒状況把握、家庭等の連携を含め再確認する。
		問題行動をなくし、特別指導において自主性と規範意識の構築を図る	校則や社会的マナー、ルールを遵守することの大切さや、そのための効果的な指導の実施	2, 9	昼休み、放課後の巡回等も検討してみては。
			規範意識と自主性・意識向上のための特別指導の実施	2, 9	個別指導のあり方を検討し、よりよい生徒指導に努める。
		いじめのない、生命を尊重し安全で健康な心身の確立を図る	城北スピリッツの精神で、人間の生命の尊厳と互いの人格を認め合う心を育てる	3, 1	生徒理解・把握に努める。城北スピリッツを考える取り組み、活動を計画的に行う。
		生徒指導部活動全体について成果と課題	今後はSNS等の問題が増加傾向にあることが予想される。そこをきっかけにいじめや人権侵害等の重大な問題に発展する恐れもあり、職員が十分な知識と対応力をつけていくことが必要である。全体的に生徒は落ち着いた生活ができてきている。生徒指導部の先生方の力が大きい。		
	進路指導部	進路実現に向けた啓発活動、指導体制の確立	生徒の進路希望や学力等の確かな把握と指導を行い、計画的、体系的な指導を行う	2, 7	LHRの活用の再検討が必要。進路指導の時間不足があった。生徒個別の相談・面談できる環境づくり。各教科、コースで再検討が必要。
		計画的かつ充実した進学指導の実施	計画的、より効果的に生徒の学習意欲と学力の向上を図る授業、課外、希望塾の実施	2, 8	担当者任せになっており、組織的な活動が必要。学年ごとの取組みの体系化を。
		計画的かつ充実した就職指導の実施	計画的、より効果的に生徒の就職活動ができる環境を整え、学力の向上とキャリアプランニング活動の充実を図る	2, 9	キャリアプランニング活動の充実を。就職・進学セミナーを計画的に。学力向上が課題。
		効果的な面接・小論文対策指導、公務員対策指導の確立	個々の生徒に応じた進路実現を図るための計画的、体系的な指導を徹底する	2, 7	早期の面接・小論文指導の体系化。小論文については教科まかせの現状を改善すべき。公務員課外実施の再検討。
		進路指導部全体について成果と課題	進路指導部と3学年の情報交換と連携強化を図るための体系、具体的取組の検討。進路指導室、パソコン室の活用を計画的に進め、SPIや一般常識の定着についての検討も必要。進路決定後の指導も充実を図る。センター試験受験へ向けての更なる強化を。来客者対応の体系化。		
	人権教育部	豊かな人権感覚を身につけた生徒を育成する	学校全体、学年、クラスにおいて計画的かつ効果的な人権教育の実施	2, 8	学校全体の取り組みはできたが、学年、クラスの取組みに課題がある。
		職員の人権意識の高揚を図る	校内外研修会の計画的な実施と参加	3, 1	職員の研修はできたが、重大な問題が発生したことは反省すべき。まだ研修が必要。
		人権教育部活動全体について成果と課題	人権だよりの活用ができてとても良かった。生徒へ配布時にしっかりと伝えることができた。職員自らが積極的に研修を積み、実践していく活動を構築していく。一昨年の取組みを忘れず、自らの人権意識を常に高めていく。		
	特別支援部	個々の生徒の実態に応じた支援体制の確立と支援	特別支援における情報の共有を図り、支援体制を確立し、教育活動全体を通しての支援	3, 1	個々の生徒の情報共有のための方法をより良い形にするために常に改善していく。
		生徒支援における教職員の連携と効果的な組織体制づくり	教職員への研修、情報の共有等におけるのバックアップ体制と組織の確立	3, 0	全職員参加の研修を実施する。
		特別支援部活動全体について成果と課題	会議や教育相談等充実してきており、一人ひとりの生徒への取り組みがしっかりとできてきている。よく取り組みができていと思うが、全職員の理解が必要。理解しようとしていない職員が見られるのが残念。まずは職員自ら研鑽を重ねることから。		

評価項目		具体的目標(評価の観点)	具体的方策	評価	成果と課題
大項目	小項目				
各部 及び 専攻科	保健体育部	体育的活動の充実	体育大会、クラスマッチ、体力錬成行事等体育的行事の充実を図る	3, 2	計画案を基にした事前の職員生徒の理解・把握を更に深めるともっと効果的になる。
		保健衛生面の充実	生命尊重を基盤とした、安全で健康な心身の確立と心身の健康に問題を有する生徒への対応の充実を図る	2, 9	性教育の充実を。なかなか発信ができていない。
		保健体育部活動全体について成果と課題	体育大会への取り組み、開催内容とても良かった。生徒の成長や自主性を感じることができた。雨天が多く開催も危ぶまれたが、職員生徒の団結が素晴らしかった。		
	生徒会	生徒会活動の充実	生徒会の役割、運営等を把握整理し、生徒会活動がより主体的かつ効果的になるよう充実を図る	3, 1	顧問職員と生徒会役員の連携強化を図る。
		生徒会組織の充実と委員会活動の活性化	生徒会執行部の組織としての連携と各委員会との連携の強化を図り、全体の活性化を図る	2, 8	各委員会活動に課題がある。
		生徒会活動全体について成果と課題	生徒会役員はとても良く頑張っているが委員会活動の見直しの必要がある。委員会における活動の格差は正や行事対応の活動過多が課題。学校への貢献度が非常に大きく、生徒会の生徒の成長が著しく素晴らしい。		
	看護専攻科	看護専攻科教育を通して地域社会に貢献し得る豊かな人間性・創造性を兼ね備えた看護師を育成する	実習や各授業において学生が意識を高め、達成感や課題解決学習に取り組む態度を育てる教育活動の充実を図る	3, 0	学生自らが学ぶ姿勢を育てるという点に課題と改善が必要であるが、自主的に取り組む学生が増えてきているのも成果としてあげられる。
			国家試験全員合格へ向け、計画的、合理的学習の充実を確立する	3, 3	夜間学習の効果はともあるが、職員の負担軽減も考える必要がある。
		看護専攻科全体について成果と課題	専門職業人として必要なスキルを習得できる授業の実施をもっと行い、効果的カリキュラムの検討も随時行っていくことが必要である。国家試験合格100%へ向け、効果的計画実践ができてきている。5年一貫のシラバス、進路、教育の在り方を常に検証していく。		
	事務部	経理・庶務・会計の充実	各項目における経理・会計の正確かつ明確化を図る	2, 8	正確さ、明確さ向上のための組織を確立していく。
		安心安全な食堂運営	安心安全かつバランスのとれた食事の提供を図る	3, 0	食堂のメニューの更なる充実を図る。
		安心安全なスクールバス運営	計画的な車両の整備点検を行い、安心安全な管理体制の確立を図る	2, 7	車両の検討が必要。老朽化が問題。
			的確かつ合理的なスクールバスの運行を行う	2, 9	路線の再検討が必要。
		安心安全な寮運営	寮生の実態把握を的確に行い、点呼体制、寮生活における規律体制の確立と、より豊かな生活が営めるよう充実を図る	2, 9	女子寮の老朽化が課題。
		事務部全体について成果と課題	業務担当の見直しも含め、効率化、正確さ、明確化向上へ向け検討が必要。学校の窓口として以前と比べても明るさと一生懸命さを感じるようになってきた。自信と責任を持ち正確に行う。		

4 生徒による評価総括表(○はい、●いいえ)

	今年度(H28年度)		昨年度(H27年度)		一昨年度(H26年度)	
	○	●	○	●	○	●
1 城北高校での学校生活は楽しいですか。	○ 84%	● 16%	○ 87%	● 13%	○ 86%	● 14%
2 城北高校に入学してよかったですか。	○ 79%	● 21%	○ 87%	● 13%	○ 84%	● 16%
3 先生達は生徒のために頑張っていますか。	○ 81%	● 19%	○ 85%	● 15%	○ 82%	● 18%
4 高校で何か頑張っていることはありますか。	○ 82%	● 18%	○ 85%	● 15%	○ 84%	● 16%
5 今高校生活での目標を持っていますか。	○ 78%	● 22%	○ 83%	● 17%	○ 85%	● 15%
6 将来の目標を持っていますか。	○ 82%	● 18%	○ 84%	● 16%	○ 86%	● 14%
7 あなたは「心の掃除」にきちんと取り組んでいますか。	○ 81%	● 19%	○ 81%	● 19%	○ 84%	● 16%
8 あなたは授業の「予習・復習」をやっていますか。	○ 23%	● 77%	○ 25%	● 75%	○ 28%	● 72%

総括

生徒による評価について、「1 城北高校での生活は楽しいですか」「2 城北高校に入学してよかったですか」「3 先生たちは生徒のために頑張っていますか」の評価が若干ではあるが下がってきている現状にあるのが気になるところである。全体的には「学校生活が楽しい」「入学してよかった」「先生たちは生徒のために頑張っている」と感じている生徒が多くいる事は良いことであるが、一昨年から昨年と向上していた数値が下降している点はしっかりと受け止め課題とし、改善しなければならない。特に、「入学してよかった」生徒が8割を切ってしまう現状は課題を分析し改善を図る教育活動の展開が求められる。なぜそのように思っているのか、それは「5 今目標を持っていますか」の数値が激減してきている状況に比例しているようにも考える。目標をなかなか持たずに日々の高校生活を送っている生徒が増えてきており、学習や学校生活活動の中に自分の居場所、自分のこれからの道しるべ、夢や希望等を示唆していく教職員の関わりや教育活動の創造が大切になってくると考える。例年の課題である学習に対する取り組み、学習習慣の確立へ向けての基本となる「8 予習・復習」への取り組みが依然として改善できていないところも意識や意欲の向上といった点に結び付かず、影響していると思われる。「授業がわかるようになった」「できなかったことができるようになった」「やってみたら思いのほかできた」など自己肯定観を高め得る授業の創造と、学校行事をはじめ学校教育活動の創造を研究し、いきいきと前向きに何事にも取り組む、「輝く生徒の育成」を目指していかなければならない。教職員は今回のアンケート結果を真摯に受け止め、まずは「授業を第一」に「授業で生徒の可能性を引き出す」「授業で生徒のやる気を育てる」「授業で自分のことより人のことを思う生徒を育てる」一時間一時間を大切にしていかなければならない。

5 保護者による評価総括表

4: と思う 3: どちらかといえばと思う 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

	項 目	評 価 (%)
1	城北高校の保護者は、城北高校の教育方針を理解し、よく協力している。	4 (30.9) 3 (59.9) 2 (9.0) 1 (0.2)
2	城北高校の学校行事は、子どもにとって充実しており学校の特色となっている。	4 (40.9) 3 (50.8) 2 (7.4) 1 (0.9)
3	城北高校の授業は、生徒の興味・関心を引き出すよう授業の内容や教え方を工夫している。	4 (26.3) 3 (61.5) 2 (11.6) 1 (0.5)
4	城北高校の進路指導は、生徒の将来を見据えた適切なものである。	4 (39.8) 3 (51.6) 2 (8.2) 1 (0.4)
5	城北高校の職員は、生徒の進路希望達成に向けて積極的に努力している。	4 (46.7) 3 (46.5) 2 (6.0) 1 (0.7)
6	城北高校の職員は、生徒の悩みや保護者の相談に親身になって対応している。	4 (45.3) 3 (45.3) 2 (8.0) 1 (1.3)
7	城北高校は、生活面での規律(挨拶、時間を守る、服装など)の指導に力を入れている。	4 (61.1) 3 (35.5) 2 (2.9) 1 (0.5)
8	城北高校の部活動や生徒会活動などは、活発である。	4 (52.8) 3 (41.8) 2 (5.1) 1 (0.4)
9	城北高校は、健康・安全に関する教育がよく行われている。	4 (36.3) 3 (56.6) 2 (6.2) 1 (0.9)
10	城北高校は、人権教育の推進に力を入れている。	4 (34.7) 3 (57.5) 2 (7.3) 1 (0.5)
11	城北高校は、掃除が行き届いており校内が整理整頓されている。	4 (57.1) 3 (38.5) 2 (4.2) 1 (0.2)
12	城北高校の教育環境(施設・設備)は、学習しやすいように整備されている。	4 (43.9) 3 (48.3) 2 (6.7) 1 (1.1)
13	城北高校は、家庭への情報提供や連絡等をきめ細かに行っている。	4 (39.4) 3 (48.9) 2 (10.6) 1 (1.1)
14	城北高校は、保護者および地域社会に信頼されている。	4 (41.8) 3 (50.9) 2 (6.9) 1 (0.4)
15	私は、城北高校に自分の子どもを入学させて良かったと思っている。	4 (63.9) 3 (30.1) 2 (5.3) 1 (0.7)

総括 今年度初めて保護者へ向けアンケートを実施した。本校の教育は建学の精神に則り、教育目標、重点目標を掲げ、「人間をつくる」心の教育を中心に教育活動を展開している。その教育活動の展開の中で保護者との連携や保護者からの協力は不可欠なものであり、重要なものである。本校が掲げる教育目標や重点目標への実践が保護者目線でどのように映っているのか、本校の教育内容、実践をどのように結果として受け止められているのか、アンケート結果と真摯に向き合い改善し、よりよい学校づくり、保護者と一体となった学校づくりを創造していきたい。全体的に、9割の保護者には「4と思う」「3どちらかと言えばと思う」と御理解を頂いている結果にはなっているが、あえて「2あまりそう思わない」「1まったくそう思わない」と答えていただいた数値に目を向け、まずは「思わない」数値が高くなっている項目の検討と改善を図っていかなければならない。まず結果として「思わない」と1割を超えている「3城北高校の授業は

生徒の興味・関心を引き出すよう授業の内容や教え方を工夫している」という項目では、12,1%と一番高い数値となっている。高校教育活動の中心となる授業の数値においてこのような数値になっていることについては全職員が真摯に受け止め、課題としなければならない。生徒が意識的かつ意欲的に学習に取り組む授業、生徒の可能性、能力を引き出し向上させる授業、学力を上げ、成績向上へつながる授業の創造へ向け、更に私たち教員は研究と自己研鑽を積み重ねなければならない。個人として、また、教科・学科・教職員の組織としてできることを実践していく必要がある。授業研究会、毎時の授業の振り返り(振り返りシートの実践)、教師間における学びの機会(研修)等の実施など改善を図りたい。また、「13 城北高校は、家庭への情報提供や連絡等をきめ細やかに行っている」という項目の「思わない」が 11,7%に上っている。学校教育活動や、行事、クラス状況等、文書等書面(学校新聞、クラス通信、各種文書等)で情報提供や連絡を行っているが、保護者にさらにわかりやすく情報提供できるような内容と手段を考える必要がある。クラスからの通信もクラスや、担任により差がある点も各科、各学年の課題としなければならない。基本となる日ごろからの保護者との連携・改善こそがその根本にあることも含め、検討・改善していきたい。また、他にも本校の教育理念となっている「心の教育」を実践していく上で目を向けなければならない項目が「6城北高校の職員は、生徒の悩みや保護者の相談に親身になって対応している」という項目の「1全く思わない」数値の 1,3%、「2あまり思わない」数値を合わせた 9,3%となっている数値にも目を向けなければならない。「子どもを育てる思い」は保護者も本校職員も同じであり、相互の理解、協力は必要不可欠なものである。保護者の 1 割弱の数値ではあるが、このような思いをさせている保護者がいるという現状を受け止め、早急な改善を図る必要がある。これも日頃からの生徒・保護者との関わりが基本にあるもので、その中の現状の課題から改善していく必要がある。愛と指導力と感性で生徒との関係を創り上げ、保護者の理解と連携を創り上げることが職員全員で再度見つめ直したい。他の項目一つひとつについても改善していけるよう、個人の課題として、組織の課題としてしっかりと向き合い、改善していきたい。今回は初めて保護者からの御意見を頂いたが、今後も毎年実施し、生徒・保護者へ満足感を与えられるよう、そして信頼をもっと得られるような学校教育活動を実践していきたい。

6 学校関係者評価

本校評議員、PTA役員による学校関係者評価【評議員(8人)PTA役員(11人)】

4:そう思う 3:まあまあそう思う 2:あまりそう思わない 1:そう思わない

1 学校経営全般について

項 目	評価(%)
(1)学校の経営方針や本年度の努力目標は、生徒の実態や保護者、及び地域住民の要望等を踏まえた適切な設定になっている。	4(57%) 3(43%) 2(0%) 1(0%)
(2)学校の教育活動について保護者や地域、中学校に、わかりやすく伝えている。	4(29%) 3(57%) 2(14%) 1(0%)
(3)学校は、教職員一人ひとりの指導力等の向上に努め、生徒の可能性を引き出し、生徒、保護者を満足させている。	4(29%) 3(57%) 2(14%) 1(0%)

2 自己評価について

項 目	評価(%)
(1)アンケートの項目や調査内容及び方法は、学校経営の改善へ向け、適切である。	4(29%) 3(71%) 2(0%) 1(0%)
(2)アンケート等の分析をもとにして、学校経営の成果や課題が明らかになっている。	4(12%) 3(88%) 2(0%) 1(0%)
(3)学校経営の今後の課題に対し、対策が具体的・計画的に示されている。	4(12%) 3(75%) 2(13%) 1(0%)

3 学校経営全般、自己評価(生徒評価、保護者評価を含む)に対する主な意見は次のとおりである。

- ①課題となっている項目についてもっと計画的に示していくようにすればよいと思う。
- ②8年間子ども3人お世話になった。年々と学校の教育活動が活発になってきていると思う。
- ③今後も学校、生徒、保護者が共感できる教育環境をお願いします。
- ④トップが変わればすべてが変わる。山鹿(地域)からの城北高校全体に対する評価が大変良くなってきた。
- ⑤評価の低いものや効果の高そうな物から充実させていく取捨選択も必要。
- ⑥生徒が学習への取り組みに興味を示す授業、意欲的に取り組むことのできる課題を解決出来たら大きな飛躍となる。
- ⑦学習面だけでなく、多方面で生徒が自発的に動くように誘導するような教育活動をお願いしたい。
- ⑧アンケート項目も適切で、成果も課題も改善していると思われる。
- ⑨評価が低いものから、重点努力事項を設定し改善の方向へ進んでほしい。
- ⑩校長先生をはじめとする先生方には、魅力ある学校づくりに取り組んで頂いている。
- ⑪評価アンケートを科別、卒業生にも実施してはどうか。自分の高校生活について、社会人、大学生になった今思うこともあるのではないかな。

7、総合評価及び次年度への課題・改善方策

本校の建学の精神である「社会貢献する『人間をつくる』」を教育の柱におき、生徒、保護者を満足させる教育活動、内容、行事等の検討を行ない、今年度の目標達成を目指し実践してきた。今年度の自己評価は、例年行っている自己評価項目から大幅に変え、より具体的に、より詳細に本校の教育活動を評価する形で、評価項目を設定し行った。その結果、本校における改善項目、成果と課題がより明確に評価される結果となった。4段階の評価で2、5以下の項目については、それぞれの部や学科、教科で問題提起し、次年度へ向け改善検討を図りたい。教育環境の整備については、今年度普通科特進コース専用の教室棟を新築したり、体育館の耐震補強工事を実施したり、随分と教育環境が充実してきた。今後は、寮、スクールバスを含めた改善を計画的に実施していくことが課題となる。本校の教育の質の向上と生徒の意識・意欲向上を図る『わかる授業』への取り組みは全ての教職員が常に意識し、研究と研修につとめなければならない。指導が、生徒への自信、結果・実績として表れるような実践を行なうことが必要である。各校務分掌における課題も明確になった。数値が低いところを本年度の反省事項・課題とし、来年度へ向け取り組んでいきたい。生徒による評価、保護者による評価については項目ごとの総括を行ったとおりであるが、今年度の評価として、初めて保護者アンケートを実施し、保護者の実態を把握することができたことはとても評価できることである。生徒、保護者の思いと結果をしっかりと受け止め今後の教育活動へ生かしていきたい。また、学校関係者評価についても今年度は幅を広げて評価していただいた。自己評価、生徒・保護者評価をもとに、例年、学校評議員の方だけに行っていたが、保護者の代表として、PTA役員にもお願いして行った。人数が増えて、それぞれの立場で、本校の教育評価について真剣に評価していただき、更に次年度へ向けた課題が明らかになった。今年度の学校評価のもと次年度へ向けでは、特に次の項目について改善を図っていきたい。

(1) 常に『わかる授業』を意識した授業の取り組み。

生徒の「学習意識・意欲の向上を図る授業」を教科間で連携を密にし、組織として取り組んでいく。(定期的な教科会の実施。授業振り返りシートの活用。家庭学習における課題の充実等。)

(2) 進路実現へ向けた計画的、充実した指導の確立。

希望進路の達成へ向けた取り組みの明確化と指導の充実を図る。進路指導における組織を見直し、組織的・計画的に目標達成へ向け指導を行う。部と学年、学級の連携を密にし、取り組みの強化を図る。

(3) 学校教育活動と学校行事の充実・精選及び学校施設設備の更なる充実。

来年度本校は50周年記念を迎える。この記念となる年を機にさらに飛躍していくため、「生徒が輝く」教育活動、学校行事等を構築していく。同窓会の活性化を図り、今年の行事である記念体育大会、記念式典、記念学園祭を特に充実させたい。また、寮、スクールバスの老朽化における課題も計画的に改善していく。